

研究課題番号	3-2102
研究課題名	新規・次期フッ素化合物 POPs の適正管理を目的とした廃棄物発生実態と処理分解挙動の解明
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	松神 秀徳

1. 委員の指摘及び提言概要

近年新たに POPs に追加登録された有機フッ素化合物に関し、分析法の開発とそれによる製品・廃棄物中の物質特定、廃棄処理による溶出・放散挙動の解明と環境排出量推定、焼却工程での分解挙動解明に取り組む課題である。国際的に多くの研究が行われている分野で、網羅分析手法の開発の着実な進展をはじめ、上記各項目について国際的に評価され得る成果が得られていると高く評価された。今後のさらなる展開として、分析化学手法の一層の高度化と開発した方法の国際的な標準化により世界のイニシアティブを取っていくこと、明らかになったプラスチックリサイクル施設からの排出の知見に基づき、リスク管理とその低減に結びつけ得るための課題整理さらに対策技術への展開を加速していくことを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S